

とのしよ とのしよ



元いっしょに！
土庄町

蛭の放流 ～土庄小学校の子どもたちと～



新議長・副議長、新委員会構成決まる！ 2-3

新設統合こども園のための準備が進行中 4-5

議員の活動状況 5

委員会の活動報告 6

一般質問（7人の議員が町政を問う） 9

まちの元気印（肥土山農村歌舞伎保存会） 14

新委員会構成 決まる!

5月
臨時会

5月臨時会が5月18日に開かれました。まず、専決処分の承認についてが5件提出され、すべて原案どおり可決しました。次に、濱中幸三議長、佐々木邦久副議長の辞職に伴って、議長・副議長の選挙を実施し、議長に、井上正清議員、副議長には、引き続き佐々木邦久議員が選出されました。その後、常任委員会等の委員の選任も行いました。

議長 副議長 就任のご挨拶



井上正清 議長

この度、選挙によりまして、不肖私が議長職という大役の指名をいただきました。身に余る光栄と感激いたしておりますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。

今、わが町は少子高齢化、人口減少が急速に進む中、大型事業も控え、極めて厳しい財政状況が予想されます。また、住民福祉の向

上をはじめ、町政発展には、取り組むべき重要な課題が山積しており、議会と執行機関との真摯な議論により、これらの諸課題に有効な施策を推進していかなければなりません。

ご指名をいただきまして以上は、議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。大変簡単ではございますが、私の決意表明と挨拶に代えさせていただきます。

この度、選挙によりまして、重責を担う副議長にご指名をいただきました。身に余る光栄でございます。

議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいり、町政発展のために、その任務を全うしたいと思っております。今後とも一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。また、同時に責任の重さを痛感しております。



佐々木邦久 副議長

5月臨時会の審議結果

5件とも全員賛成でした。

内 容	結 果	内 容	結 果
専決処分の承認を求めることについて（土庄町税条例の一部を改正する条例）	承認	専決処分の承認を求めることについて（土庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分の承認を求めることについて（土庄町過疎地域における町税の特別措置条例の一部を改正する条例）	承認	専決処分の承認を求めることについて（土庄町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分の承認を求めることについて（土庄町離島振興対策実施地域における町税の特別措置条例の一部を改正する条例）	承認		

選挙結果

（議長選挙投票総数12票）

井上正清	7票
高橋正博	4票
福本耕太	1票

（副議長選挙投票総数12票）

佐々木邦久	7票
母倉正人	2票
高橋正博	2票
福本耕太	1票

新議長 副議長

5月18日の臨時会で、任期が満了した各常任委員会と議会運営委員会、委員の辞職があった議会広報特別委員会の委員を新たに選出しました。委員会とは、より充実した調査・審議を効率的に行うために、議会に設置される組織です。常任委員会は議案の事前審査等を行います。



総務建設常任委員会

母倉正人 濱中幸三 福本耕太
○岡野能之 ◎濱野良一 佐々木邦久



教育民生常任委員会

高橋正博 川本貴也 木場隆司
井上正清 ◎山崎勝義 ○岡本経治

◎は、委員長 ○は、副委員長

議会運営委員会	議会広報特別委員会 (議会だより編集等)	
川本貴也◎ 母倉正人○ 濱野良一 福本耕太 山崎勝義 佐々木邦久	高橋正博◎ 岡野能之○ 岡本経治※ 濱野良一 福本耕太 佐々木邦久	井上正清※ ※が新委員

専決処分

ん期間が延長されることに伴う。

正 ◆土庄町税条例の一部改正

配偶者控除の見直し等にかかる規定の整備、わがまち条例の新設と廃止。

◆土庄町過疎地域における町税の特別措置条例の一部改正

◆土庄町国民健康保険税条例の一部改正
低所得者に対する国民健康保険税の軽減措置の拡大のため、軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引き上げ。

◆土庄町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

◆土庄町離島振興対策実施地域における町税の特別措置条例の一部改正
水道事業広域化へ向け、現状と合致していない事項を修正。

6月 定例会

6月定例会は6月19日に開会し、6月20日に閉会しました。
補正予算1件、条例1件、契約1件、その他2件が提出され、すべて原案どおり可決しました。
一般質問では、7人の議員が町政について質問を行いました。

の準備が進行中



町道新設改良事業

町道西古浜線歩道整備

594
万円



590
万円

瀬戸内国際芸術祭事業

DRUM TAO (ドラム・タオ) 公演

補正予算の主な内容

補正予算案に対する質疑

濱中議員 コミュニティ

助成事業の太鼓台の修繕の予算について、今後他の地区で太鼓台を修繕する場合、助成対象になり得るか。

総務課長 コミュニティ

助成事業は、いわゆる宝くじ助成であり、予算の限度はあると思うが、申請をしてもらって実施できるか否かが決まる。

福本議員 議会と町の雲仙市への旅費が予算に含まれているが、出張に行く人と人数は、1人いくらかかるのか。

次世代産業育成モデル事業の予算について、町単独の支出はどの部門にいくら使われるのか。

総務課長 雲仙市に行く

のは、議長、副議長、総務建設常任委員長、教育民生常任委員長、町長、副町長、教育長、総務課長、企画課長、商工観光課長、教育総務課長、生涯学習課長の12名。旅費は、議員と特別職は、1

補正予算案に対する討論

反対 福本議員

実費を超える額の支給が継続されているので、雲仙市への旅費、費用弁償の予算に反対する。

賛成 濱野議員

この件は、委員会でも報告を受け、審議した結果、妥当であると判断した。

条例の改正

◇土庄町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正
介護保険法施行規則の一部を改正する省令の公布及び施行に伴う改正

契約

◇福祉バスの購入

〈機種〉福祉バス

〈台数〉1台

〈取得価格〉

765万円

〈契約の相手方〉

富丘モータース(有)

その他

◇新たに生じた土地の確認
馬越港内の埋立工事が竣功認可を受けたことに伴い、町の区域に新たな土地が生じたことを確認する。

◇字の区域の変更

町の区域に新たに生じた土地を所在の字に編入することにより字の区域を変更する。

平成29年度補正予算 新設統合こども園のため

平成29年度補正予算 一般会計

4490万円増額 ⇒
総額 77億7790万円



6月定例会の審議結果と賛否

賛否の分かれた議案

議案等	結果	岡野	岡本	濱野	高橋	木場	母倉	福本	濱中	山崎	川本	佐々木	井上
平成29年度土庄町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 —：議長（議長は採決に加わりません）

全員賛成の議案

内 容	結果	内 容	結果
土庄町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正	可決	新たに生じた土地の確認について	可決
福祉バスの購入について	可決	字の区域の変更について	可決

議員の会議等出席状況（平成29年4月18日～平成29年7月10日）

月 日	会 議 等	岡野	岡本	濱野	高橋	木場	母倉	福本	山崎	川本	井上	佐々木	濱中
4月19日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
5月11日	議会運営委員会	○	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	議
5月18日	5月臨時会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月28日	土庄中学校運動会	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×
6月6日	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月6日	広報特別委員会	○	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	—
6月19日	6月定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月20日	6月定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月10日	広報特別委員会	○	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	—

○：出席 ×：欠席 —：出席不要 議：議長の職務出席
※議長、副議長のみ出席の会議等は省略しています

総務建設常任委員会

(6/6)

総務課

税情報漏えい調査委員会の最終提言

平成26年9月8日、土庄町役場内の記者クラブ宛に土庄町役場債権管理室が作成した税情報漏えい調査委員会の最終提言が郵送されたことについて、税情報漏えい調査委員会が設置されていた。捜査については、小豆警察署によると、被疑者不詳のまま、検察庁に事件の時効を送ったとのこと。

平成29年3月31日に調査委員会より、町長へ最終提言が提出された。調査委員会としては、これ以上の説明は困難であり、警察及び検察庁の捜査進展に期待するしかないものと考え、法令順守のための研修やセキュリティ対策の実施を求める」と結論づけている。

《福本》記者クラブに届いたものは分からないが、町長が情報を持ち出したことは事実。それに

ついて、町はどう対応するのか。処罰を検討すべきだ。

《答》町長に対しても、コンプライアンス研修を実施した。今後は、このようなことがないようにする。

《濱中》事件が検察庁に送られた後はどうなるのか。

《答》検察庁が今後捜査すると聞いているが、具体的には分からない。

《濱中》時効までに検察の捜査があるのであれば、最終提言は早すぎた。

土庄町庁舎建設検討審議会

土庄町庁舎は、耐震診断の結果、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高いため、庁舎整備をする必要がある。

庁舎の建設候補地、建設規模、周辺整備等について、外部の組織の意見を聞いて調査検討を行うことを目的として土庄町庁舎建設検討審議会を設

置する。町長から諮問を受けた同審議会が検討し、町長に答申する。6月22日に同審議会の第一回を開催予定。



現在の庁舎

商工観光課

平成29年度事業計画

小豆島まつり、瀬戸内海ターゲットフルマラソン全国大会をはじめ、様々なイベントを企画し、小豆島の魅力を発信していく。小豆島石の絵手紙カード整備事業、日本一どでかぼちゃ大会、小豆島クルージング「世界一狭い海峡から見る小豆島」、小豆島の間伐材を使った「アートベンチ」の制作等を計画している。

ドラム・タオ公演

昨年10月、瀬戸内国際芸術祭公式イベントとして実現した公演が好評だったため、今年度も開催するべく、秋の公演に向けて準備したい。

小豆島観光戦略会議

土庄町長、小豆島町長をはじめ、小豆島の観光関連企業で構成されており、今年4月に発足。旅行社会社に小豆島への観光誘客を働きかけるとともに、海外にも小豆島の魅力を発信する。予算は土庄町、小豆島町の負担金と会員の年会費が財源。

《福本》観光協会と別の団体を作る目的は。

《答》広い意味では観光誘致であるが、旅行商品の作成を依頼するとともに小豆島が四国の代表観光地になるように、小豆島観光協会の会員の有志が集まった組織。インバウンド対策もしたい。

水道課

香川県水道広域化

土庄町では、来年4月の香川県広域水道の統合に向けて、本年4月から豊島簡易水道と土庄町上水道を統合している。

今後、議会には、香川県広域水道企業団の設置、現在の水道事業の廃止について審議してもらう。

同様に統合に参加する市町の全てで承認された後、今年11月ごろ、総務大臣に設置許可をもらう予定。町の議会からも、企業団議員の選出をしてもらう。

来年3月には厚生労働大臣の水道事業創設認可を得て、4月から事業開始。



水道施設

《佐々木》平成39年度までは、水道課は現在の場所にあるということか。

《答》31年度までは現在の場所にある。32年度からは、小豆島の中で1か所新たなブロックセンターを決めるので、そちらに移る。39年度というのは、区分経理のこと。

《佐々木》肥土山浄水場の整備をしなければ、水道料金は上がらないか。

《答》肥土山浄水場の整備はするが、料金の詳細なシミュレーションは改めて説明する。

《濱野》悪い話も先に出しておいの方がいいので、多めの料金体系を出してもらった方がいい。

建設課

町道西古浜線歩道整備

死亡事故が発生したが、抜本的な道路改良が行われていない。現在、土庄町立中央公民館からふれとびあ橋までの区間について、車道2車線、片側歩道(2.5m)の整備を計画している。道路拡幅のため、NTT西日本と協議中である。

《母倉》事故のあったところから、町の土地に食い込んで道を作り、NTTの角辺りに横断歩道が付くのか。

役場の道路際から真っ直ぐ中央公民館の前まで道を付けないのか。

《答》警察と協議した結果、横断歩道は付けられない。横断誘導線というものを考えている。

現在の役場の車庫と倉庫があるので、今はできない。

馬越港埋立竣工に伴う新たに生じた土地の確認

馬越港内の公有水面埋立に関する工事が平成29年5月16日に竣工認可を受けたことに伴い、土庄町の区域に新たに土地が生じたことから、その旨を確認するもの。また、確認した土地を所在の字に編入することにより字の区域が変更となることから、これを定める。

刈崎都市下水路事業大谷ポンプ場整備

平成28年度繰越事業で、ゲート、吐出口、流出渠、ポンプ場管理棟、流入渠の建設工事を実施。

平成29年度事業として、ポンプ2台、吐出配管、スクリーン、操作盤の設置を予定。

大部住宅建替事業

今年度から第1期建設工事(B団地3戸)が始まる。また、C団地の造成、県道からのアプローチ道路、団地敷地内道路整備、次年度建築予定の実施設計業務委託(A団

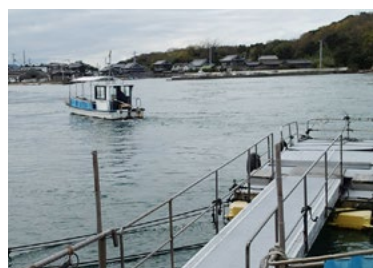
地4戸、C団地2戸)を予定。

《福本》国の負担も合わせるのと1軒あたり6千万円か。

《答》その金額には、周辺の道路や造成の全ての費用が含まれている。

沖之島架橋

四海地区のみならず町民の賛同を得るため、事業の周知、どのように賛同してもらうかということ、四海地区活性化計画をどのようにしていくかの検討が今後必要。まずは、平成29年度予算の調査費5百万円で概略設計業務委託を発注し、全体事業費、ルート、橋梁構造について計画資料を整えたい。



沖之島架橋事業

企画課

職員等の旅費支給

他の団体と比較して、土庄町の支給水準は低いこと、出張の費用の全てを旅費で賄うこととする。と個々の出張の態様により、同じ内容の出張であっても支払う旅費がそれぞれ異なるおそれがあり、それらの費用が本来の旅費として支払うべきものであるかどうかの判定が困難なこと、またすべての旅行種目の証拠書類を確保して支給することは事務処理上困難であることから、今後も定額支給方式による事務の合理化・簡素化というメリットをいかしつつ、一方で出張の実態に即した旅費の支給ができるよう努める。

《福本》旅費の支給条例の解釈が誤っている。最も経済的な方法で計算し、定められた定額との差額は返済しなければならぬと解釈すべき。

農林水産課

次世代産業育成モデル事業

当初予算の段階では運営協議会で処理する予定だった予算を、町で処理することとしたため、必要な措置をとる。

レタスの試験栽培を行ったところ、機器は正常に稼働し、レタスの収穫ができた。今後については、運営協議会で検討する。

植物工場の設備整備後、実証研究を順次行っていく。

《福本》2年目以降は、全て国費で実施すると説明していた。なぜ町がお金を出すのか。

《答》国や県の補助対象外の部分で、職員の高松出張費等は町の方で費用がかかる。

《佐々木》レタスが売れば町の収入になると思っていたが、実際は、その分、県からの交付金が減額されるのか。

《答》はい。売上を町の収入にできないか、運営協議会で話してみる。



レタスの栽培

教育民生常任委員会

(6/6)

福祉課

福祉バスの購入

入札の結果、富丘モーターズ有限公司と消費税別707万8千円で契約を締結することとし、現在、仮契約を結んでいる。来年1月5日を納期限としている。要望していた宝くじのコミュニティ助成事業について採択をしてもらえたので、それを財源とする。

《木場》バスは何人乗りか。現在、福祉バスは何台あるのか。

《答》29人乗りを改造する。後ろ2列程度の座席をどけて、車椅子が入る改造。現在、1台だけ。《井上》車椅子は後ろから乗るのか。

生涯学習課 運動・スポーツ習慣化促進事業

地域の環境や無関心層の特徴に応じた運動・スポーツ活動を展開し、「運動・スポーツ実施率」や「町民体力測定参加率」の向上、住民の健康意識の改善を図る。

総合型地域スポーツクラブ

7月1日設立予定。設立と同時に「運動・スポーツ習慣化促進事業」に取り組み。健康増進課事業への協力、バスケットボールチームの誘致などの事業を計画。

放課後子ども教室

放課後子ども教室の土庄教室が使用している旧土庄小学校校舎を、統合こども園建設事業に伴い、解体、撤去する。そこで、子ども教室を中央公民館2階の和室に移転する。期間は2年間。2年後には、こども園の建設が完了し、幼稚園など利用可能な施設が空く予定。

《川本》2年後に移る空いた建物とは。

《答》例えば湊崎幼稚園、愛の園、子育て支援センターが見込まれる。

《川本》最終的に土庄教室も湊崎地区へ移るということか。2年待たずに前倒しすればよいのでは。

《答》コーディネーターの不足もあり、将来的には、土庄教室と湊崎教室を合同にしたい。この機会に合同にすることも検討したが、十分な広さの施設がない。

《高橋》湊崎幼稚園も耐震化ができていないので、できないのでは。

《答》耐震化ができていない棟を想定している。



総合型地域スポーツクラブ

教育総務課 こども園建設

保護者、園の先生から

なる幼保再編協議会で、平成31年度を目処に公立の幼稚園・保育所は、認定こども園へ全て移行、土庄、湊崎幼稚園、愛の園保育所は、幼保連携型認定こども園に統合、統合する認定こども園の建設候補地は、旧土庄小学校跡地ということを決

定。29年度は、土地の購入と周辺道路環境の整備を予定している。歩道を整備し、送迎用の駐車場を確保する。この案で建設のゴーサインを出したい。

《岡本》一方通行部分をずらして、吉ヶ浦方面から来る人が旧高尾書店のところを左折して、外周を通れるようにできないか。

《答》警察に問合せをしている。ただ、一方通行は、歩行者のためのものであり、道は歩行者優先だということを言われている。

住民環境課 一般廃棄物処理施設の交渉経過

最有力候補地は、琴塚

妙見地区であり、自治会等への説明を行っているが、難航している。弁護士に依頼して、反対の署名を持参するという動きもある。

一般廃棄物処理施設を



一般廃棄物処分場

《川本》委員会で周辺道路整備を条件としていたので、いつまでに何をやるのか明確にしてほしい。

現在、行き詰っている状況であり、今後の対応について庁内でも協議をしている。

《川本》執行部としてはこの場所しか考えていないのか。

《答》現時点では、ここしかないが、期限が迫っている中で、ここを残しつつ、違うところも選定していこうと思う。

議員が町政を問う

ここが聞きたい



6月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。
全文記録（会議録）は、土庄町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

▶土庄町ホームページ

<http://www.tonosho.kagawa.jp>

質問議員	質問事項
木場隆司	○土庄町の防災対策は
岡野能之	○創業支援の取組について
岡本経治	○小豆地区消防本部の緊急車両の専用道路建設を ○災害時の物資備蓄計画について
濱中幸三	○保育所、幼稚園の耐震化は ○県立養護学校を町内に ○備讃瀬戸を世界自然遺産に ○豊島の不法投棄産業廃棄物の撤去が完了
濱野良一	○こども園の周辺整備のため土庄八幡線の建設を
母倉正人	○町のグランドデザイン再考作業の基本的な考え方と進め方は ○魅力ある町づくりに向けた町の文化政策は
福本耕太	○費用弁償の条例改正を ○情報を持ち出した責任を町長も取るべき ○住宅リフォーム助成制度は、耐震化と切り離し、単独で利用できるようにするべき

土庄町の防災対策は



木場隆司 議員

木場 南海トラフ地震は、いつ発生してもおかしくない時期が来ていると言われている。土庄町でも、家屋の倒壊や津波による甚大な被害が想定されるが、各種対策について尋ねる。

建設課長 昭和56年5月以前の旧耐震基準で建てられた民間住宅は、耐震性が不足しているおそれがあり、耐震診断、耐震改修の支援を実施している。

津波に関しては、県管理港湾である要鉄地区の護岸が整備対象となり、県事業が進められている。町管理港湾では、土庄町の海岸線は東西に長大であり、所管する関係機関と連携を密にし、地

震、津波対策の強化を図っていききたい。

農林水産課長 漁港や海岸線については、整備優先度の高いものから順に整備する計画である。整備における基本的な考え方としては、既存施設の補強を行い、減災効果を図る。

総務課長 ソフト面の対策として、防災行政無線を利用し、対処に時間的余裕がない地震、津波等の緊急情報を町民へ瞬時に伝達することで被害の

軽減に貢献できると期待している。

避難体制強化として、防災訓練を実施している。実施地区をその都度選定し、避難、救護、炊き出し等の訓練を行い、住民の防災意識の高揚と知識の向上を図っている。

住民の安心・安全を守るため、総合的な地震、津波防災体制の確立が重要であると考えている。

木場 地震、津波についても、ゲリラ豪雨についても、よく「想定外の」「記録的な」という言葉が使われる。災害は忘れたころにやってくる。土庄町民の防災に対する意識の高揚を常に図っていただきたい。



防災行政無線



岡野能之 議員

創業支援の取組について

岡野 人口減少に伴い、土庄町においては、企業の廃業が急速に進み、商業者が減ること、経済が縮小し、税収の減少の1つの原因になっていると思われる。

そこで、国の定める産業競争力強化法のガイドラインに沿って創業支援計画を申請し、認定市区町村として、創業を支援していく必要があると思われる。Uターン、また移住を希望する方の話では、小豆島で創業したいが創業支援制度について相談する場所がわからない、また、小豆島で住みたいが雇用の場が少ないとの声を耳にする。

創業に対する、相談を受けやすくするため、また、補助金については、

産業競争力強化法に基づく、創業、第二創業促進補助金は、認定市区町村でなければ補助対象にならない。
平成27年9月定例会で同じ質問をしたが、その後の進捗状況は。

商工観光課長 現在の取組状況は、土庄町企業誘致条例の規定による施設の新増設、新規雇用に対する助成、土庄町過疎地域における町税の特別措置条例等の規定による固定資産税の減免のほか、土庄町中小企業融資条例の規定による香川県との協調融資制度により、町内中小企業者の経営の安定及び育成振興を図り、土庄町中小企業振興基本条例を施行したほか、土庄町商工会の運営基盤の強化、効率的かつ安定的な小規模企業経営改善普及事業及び地域商工観光振興事業等の運用に資するため、土庄町商工観光業振興条例の規定に基づく助成金の増額等を行っている。

産業競争力強化法に基

づく創業支援事業計画については、町が商工会、金融機関等の創業支援事業者と連携し、相談窓口の設置、創業セミナー等の創業支援を行っていく計画の申請を、四国経済産業局をはじめ、関係機関と連携しながら、今年8月下旬の認定スケジュールに合わせて準備している。

岡野 創業支援事業計画を作成し申請中であることは確認したが、土庄町の今後の取組について町長の考えは。

町長 今後は、創業支援、また、6次産業化への支援等を土庄町として協力していく。



岡本経治 議員

小豆地区消防本部の緊急車両の専用道路建設を

岡本 人命を救うために一分一秒でも早く出動を要する緊急車両が、朝夕の混雑時に速やかに出動できない時がある。また、統計では約7割が瀕

崎方面で、3割が本町方面である。おんばた会館に向かって緊急車両の専

用橋を造れば、町民の安心につながるのではないか。

建設課長 緊急出動回数、年間約900件ある。緊急車両の専用橋となれば、架橋事業費に対して通行車両の制限等の規制、また、都市計画道路として整備未着手区間となっているので、関係機関を交え詳細に検討していきたいと考えている。

岡本 車両専用橋にするのか、住民も通行できるようにするのか、準備計画等あると思うが、町民の命が第一と考えると、必要不可欠な橋だと思ふので1日も早く対処するよう町長に強く求める。



消防本部～土洲海峡

災害時の物資備蓄計画について

岡本 5月31日の新聞に県内で土庄町が必要な予算を計上でできていないことが判明と記載されていたが、今後の予算組は速やかに進めることができるのか。県では15年度から3年計画で想定される避難者の1日分を備蓄する方針を決めて進めていることを、知事が町長に直接要請したとなっているが、その後どのような動きをしているのか。

総務課長 町の場合、食品ロスを減らすため、単年度で多量に期限切れが出ないように、毎年一定量を購入する方法をとっているが、浜田知事の要請もあり、議会に説明させていただき、早急に予算を確保し、今年度中に目標量を達成したい。

岡本 土庄町において想定される避難者の人数は何人か。

総務課長 町における避難者想定数は3千人で、



濱中幸三 議員

保育所、幼稚園の耐震化

濱中 保育所、幼稚園の耐震化及び統合計画の進捗状況は。

教育総務課長 渕崎幼稚園については耐震ができていない平屋園舎がある。そこは整備をせず、統合に向けてと考えているので、土庄幼稚園、渕崎幼稚園、愛の園保育所については統合で耐震性はクリアする。それ以外の園も、これまでに耐震診断、耐震補強もすすんでいるので、幼稚園・保育所、また、小学校・中学校の耐震性は、瞳保育所を除いて全てクリアしている。

土庄、渕崎幼稚園、愛の園保育所は、昨年からの幼保再編協議会の協議を経て、平成30年度に旧

土庄小学校跡地に土庄、渕崎幼稚園、愛の園保育所を統合した幼保連携型認定こども園を建設し、31年度中に開園を予定。

濱中 唯一残っている豊島の瞳保育所は、土砂災害警戒区域の盛土の上に建てられた建物なので、他の場所に建てる必要があると思われる。現在、豊島地区の保護者、自治会長、教育総務課長の間で協議中と聞いているが、今後、教育委員会としてはどういう方向で進めていくのか。また早急に補正予算で対応をお願いしたい。

教育総務課長 新たな場所での建築する方向で、地元と協議中である。補正予算も含め財政当局と十分協議したい。

県立養護学校を町内に

濱中 小豆島に開校計画がある県立養護学校を、土庄高校跡地、中央病院跡地など土庄町の中心部に誘致してほしい。

町長 特別支援学校の設置については、土庄町へとお願ひしている。

備讃瀬戸を世界自然遺産に

濱中 昨年予算をつけて調査した世界自然遺産登録に向け、今年はその成果を生かし、登録のための協議会の設置まで進めてほしい。

企画課長 世界遺産登録



瀬戸内海

のための協議会の設置は現在のところ考えていない。この調査内容は、今後観光などをはじめとする地域資源としてさまざまな活用をしていきたい。

豊島の不法投棄産業廃棄物の撤去が完了

濱中 多くの方のご支援により、廃棄物の全量撤去が完了した。ありがとうございました。しかし、現地には、汚染された地下水などが残っており、浄化には数年かかると言われている。瀬戸内海国立公園に相応しい白砂青松の海岸を復活させるため、今まで以上の強力な後押しをお願いする。

住民環境課長 元のきれいな海岸の復活に向け、今後も県に積極的な情報提供はもとより、安全と環境保全を第一に取り組んでいただくようお願いするとともに、必要に応じて意見、要望を県に対して行いたい。

その内、備蓄対象者数は2160人とされている。

岡本 土庄町の場合、備蓄品を防災緊急避難所だけでなく、住みなれた各自治会館または地元的神社仏閣等をお願いすることは出来ないか。

総務課長 町は、豊島と旧法務局の倉庫と新北浦公民館の3か所に現在、備蓄している。

岡本 土庄町として住民の防災意識の向上に努め、緊急時に住民が安心できるように、住み慣れた地元で物資を分散化し、住民の命を守るために一生懸命努力する事を強く求める。



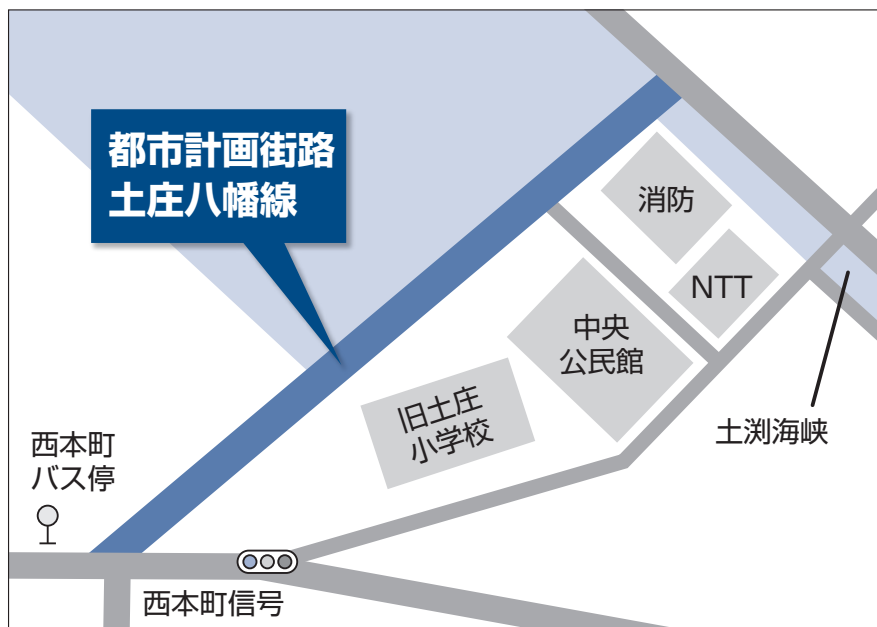
濱野良一 議員

こども園の周辺整備のため土庄八幡線の建設を

濱野 現在、認定こども園建設を旧土庄小学校跡地で計画しているが、周辺の道路事情や駐車場等の現状を考えると、送迎時における混雑、事故等が想像される。

周辺整備充実の条件を受け、NTT西日本と交渉し駐車場の確保、役場と旧NTT間の道路拡幅の着手をしたことは一定の成果と評価するが、当面の危機回避であり根本的な改善にはならない。

昭和39年決定の都市計画にある、土庄八幡線の起点から小豆島西消防署までを仕上げれば、旧土庄小学校前を通らずにすむバイパスとなり、時間帯によって一方通行となる不便も解消され、かなりの危険性が緩和される



と考える。開園には間に合わなくても、この区間の早期実現を求める。

建設課長 土庄八幡線の起点から小豆島西消防署までの既存道路のない未着手区間約400mを整備することにより、認定こども園建設予定地周辺への流入車両の減少と、そ

れに伴う交通事故等の危険性の低減を大きく期待できるが、既存道路のない区間であり、多くの地権者の協力を得ることが必要であり、事業化に向けての条件整備や合意形成に時間を要する。関係機関と調整し、事業化が可能であるか検討していきたい。

濱野 この区間の完成により、子どもたちの安全が守れ、緊急車両の通行に関しても改善ができる。思い切った計画のためには、課を越えた連携が必要。町長のご意見は。

町長 以前、青写真を描き費用も考えた。ただ、赤穂屋からおんばた会館までを今から拡幅するので、それを踏まえて計画を考えたかどうかということ、財政的な面で県道か町道かという問題もある。費用対効果も含めて、県と協議するべきと思う。

濱野 整備されるこども園は、これから数十年にわたり土庄町の将来を担う子どもたちを育てる場所になる。ここに作って良かった、ここでやって良かったと思うような施設にするために、さまざまな整備をお願いする。



母倉正人 議員

町のランドデザイン再考作業の基本的な考え方と進め方は

母倉 町のランドデザインは、いつごろを目処に、どのような手順で、仕上げるのか。町の他の分野別計画との整合は。ランドデザインの対象範囲は。

市街地とその他の地域をランドデザインの中でどう位置づけるのか。

建設課長 グランドデザインは、庁内でプロジェクトチームを立ち上げ、庁舎建設地を検討しつつ作成に取りかかりたい。

分野別の計画は、第6次土庄町総合計画を基軸として計画されたもの。各計画を洗い出し、重複する事項を整理した後、ランドデザインに反映させていきたい。全町域

のランドデザインを作成する。

都市計画区域内においては、景観、文化、教育及び観光等に、ある程度区分けが必要。区分けにより、魅力的な基盤を創出するとともに、情報発信し、各地域と連携したつながりを作っていきたい。

魅力ある町づくりに向けた町の文化政策は

母倉 町の文化政策の現状と課題は。

地域の歴史や民俗等の価値とその調査研究に関し、執行部の基本的な考え方は。

交流人口を受け入れる語学力のある人材の育成と活動をどう支援するか。交流の中で新たな文化創造の基盤をどう作っていくか。

生涯学習課長 土庄町では、文化協会に加入しているものをはじめ、様々な団体が音楽、芸能等の分野で活動している。町は、活動の拠点として、中央公民館や中央図書



福本耕太 議員

**費用弁償の条例改正を
(3月議会のつづき)**

福本 3月議会で、町は「宿泊代からホテル代を引いた差額は夕食代だ」と答弁した。そうであるならば、町長や特別職、議員に対して、一晚6千円を夕食代として支給していることになるが、そういうことか。

企画課長 その差額があらわれているということ。

福本 認めるなら、改善すべき。町長に問う。町長は、今年度の施政方針で「健全な財政運営を目指し、経費の節減意識の徹底に取り組む」と言われた。これはウソか。

町長 合理化、簡素化という点で継続が一番望ま

しい。

福本 出張に行くたび議員や町長が6千円も夕食代を使って、どうして簡素化になるのか。

町長 町の事務処理において、という意味。

福本 旅費の計算は旅行者がやっていて、必要なお金を出さないことは非常に簡単だ。町長の言っていることは矛盾している。

情報を持ち出した責任を町長も取るべき

福本 町長は、私的目的のために、町内企業の税情報を庁舎外に持ち出した。町長自身もこの事実を認めているが、町長は一切の罰則を受けようとしなない。こうした前例をつくれば、町長であれば町民すべての個人情報自由を持ち出しでできる町になってしまふ。町長は厳正な処分を受けるべきではないか。

総務課長 特別職は地方

公務員法の適用外。

福本 一般職の地方公務員なら、どういう罰則を受けるのか。

総務課長 実例がないので答えられない。

福本 通常はないことだ。町長は自らに処分を下す意思はあるか。

町長 考えていない。

福本 それで住民は納得すると思うか。

町長 納得してるかどうかは分からない。

福本 今、土庄町は、権力者の暴走に歯止めをかけられない状態だ。土庄町の民主主義を守るためにも、職員の名誉を守るためにも、町長が賢明な決断をすることを期待し、提案する。

住宅リフォーム助成制度は、耐震化と切り離し、単独で利用できるようにするべき

福本 住宅リフォーム助成制度を耐震化と一体でしか利用できない自治体の割合は、全国ではどうか。また、県内ではどうか。

建設課長 全国ではリフォーム制度を実施している町のうち、2%弱。県内では、制度を実施している3市3町の内、土庄町のみ。

館、大坂城残石記念公園、小豆島尾崎放哉記念館、働く婦人の家などを整備して文化活動を支えてきた。また、町民文化祭やコンサート、童謡音楽祭を実施し、町民に発表の機会を提供している。

福本 町は、政策を進める際に他の自治体を参考にしながら進めるということをよく言う。土庄町も単独利用できるようにするべき。

各施設の老朽化が進み、改修にかかる予算の確保が喫緊の課題である。

有形無形の文化資源を調査研究し記録として残すことは行政の責務。土庄町文化財保護審議会が町内に存する文化財の保存と活用を図るため継続的な調査研究を行っている。その他農村歌舞伎、宝生院のシンパク等、関係団体と連携して貴重な文化資源の調査研究を進めるとともに、結果を広く知らせ、今後の保存に活かしたい。

商工観光課長 瀬戸内国際芸術祭2016の開幕前に語学力向上を目的とした「小豆島国際化チーム」が結成され、芸術祭期間中には、島内外外国人観光客に対して総合的な案内を行う「ウェルカムサポーター」の事業を行った。また、職員も語学力の向上に努め、外国語のガイドブックも作成した。今後も外国人観光客のニーズを把握し、適切に取り組みたい。



別事業でのリフォームの様子

まちの
元気印

肥土山農村歌舞伎保存会



肥土山での奉納歌舞伎

として再結成されました。その後、平成8年に結成された肥土山農村歌舞伎育成会がより活発に芝居や三味線等に取り組みようになりました。平成20年に育成会が、保存会と統合されて、現在に至ります。

Q メンバーは何人ですか。

A 60人です。ほとんど肥土山の人ですが、歌舞伎をやりたい人であれば、他の地域の方でも構わないです。

Q 主にどのような活動をしていますか。

今回は、肥土山の農村歌舞伎の保存・継承活動や継承者育成活動に取り組んでいる「肥土山農村歌舞伎保存会」の皆さんにご登場いただきます。会長の佐々木育夫さんにお話をうかがいました。

A メインは、毎年5月3日の離宮八幡神社への奉納歌舞伎と、秋に琴平町の金丸座で行われる「さぬき歌舞伎まつり」で歌舞伎を披露することです。この2つに向けて数か月前から準備をします。奉納歌舞伎と同時に開催される「子ども歌舞伎」を継続するために子役の勧誘も行います。子どもの

うちから歌舞伎に親しんでもらいたいですね。

その他にも衣装の保存、歌舞伎小屋の管理などの活動があります。

どの活動も、自治会、老人会をはじめとする地域の方々のご協力に支えられています。

Q 活動を通して感じることは。

A 若い人たちが積極的に活動に取り組んでくれています。準備等も和やかな雰囲気できています。地域の人々の交流の場にもなっています。準備は大変ですが、歌舞伎が成功したときの達成感はとても大きいです。

Q 活動について何か課題はありますか。

A 保存会ではないですが、地域の高齢化のため、歌舞伎の準備をしてくれている自治会の負担が年々大きくなってきています。

Q 今後の目標や力を入れていきたいことはありますか。

A 農村歌舞伎が国の重要無形文化財に指定されることが目標です。中山地区や土庄町・小豆島町とも協力して取り組んでいます。歌舞伎に精進するとともにアピールも積極的にやっていきたいです。

Q 町や議会に対する要望はありますか。

A 重要無形文化財に指定



衣装の虫干し

定されるように町を挙げてご協力をいただきたいです。

地域の方々と一体となって活動されている様子が伝わってきました。実際に農村歌舞伎を楽しむつつ、大きな目標が達成されるよう応援したいです。

編集後記

盛夏の候、町民の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。土庄町議会におきましては、新議長が誕生し新しい委員会構成にてスタートいたしました。

現在、土庄町が抱えているさまざまな問題、課題を解決し、「安心して暮らせる町」「活力あふれる町」に向けて進んでいくには、町民、町行政、議会が一体となり、前向きで活発な意見を交換することが必要だと思われまます。

そのためにまず、議会活動を知ってもらい、理解していただくために、議会だよりを「読みやすい」「伝わりやすい」「興味を持てる」広報誌として紙面作りに努力いたしますので、今後ともどうぞよろしく願います。

《岡野能之 記》

議会の生の声を
聞いてみませんか？

次回定例会は

9月下旬から

の予定です

詳しくは議会事務局へ

☎ 62-7011

議会日程は町ホームページでもお知らせしています